

宗谷線(名寄～稚内間)について

1 運行区間の概要

- ・営業キロ 183.2km
- ・駅数 33駅(有人駅5駅、無人駅28駅)
- ・本数 特急上下6本、普通上下14本

2 経営状況

- ・輸送密度 403人/キロ/日(H27)
- ・営業損益 $\Delta 2,541$ 百万円(H27)
- ・営業係数 618円(H27)

3 他の交通モード

(1) バス

○都市間バス

- ・旭川～名寄～音威子府～鬼志別(猿払) 1往復/日(宗谷バス)
- ・旭川～名寄～音威子府～枝幸 2往復/日(宗谷、道北バス)
- ・札幌～旭川～音威子府～枝幸 1往復/日(宗谷バス)
- ・札幌～(留萌)～幌延～豊富 4往復/日(沿岸バス)
- ・札幌～稚内 6往復/日(宗谷バス、北都交通)

○路線バス

- ・名寄～恩根内 平日16便(上下9便+7便)/日(名士バス)
- ・音威子府村内 12便(上下5便+7便)/日(村営バス)
- ・豊富～幌延～留萌 5往復/日(沿岸バス)
- ・稚内～稚内空港 4往復/日(宗谷バス)

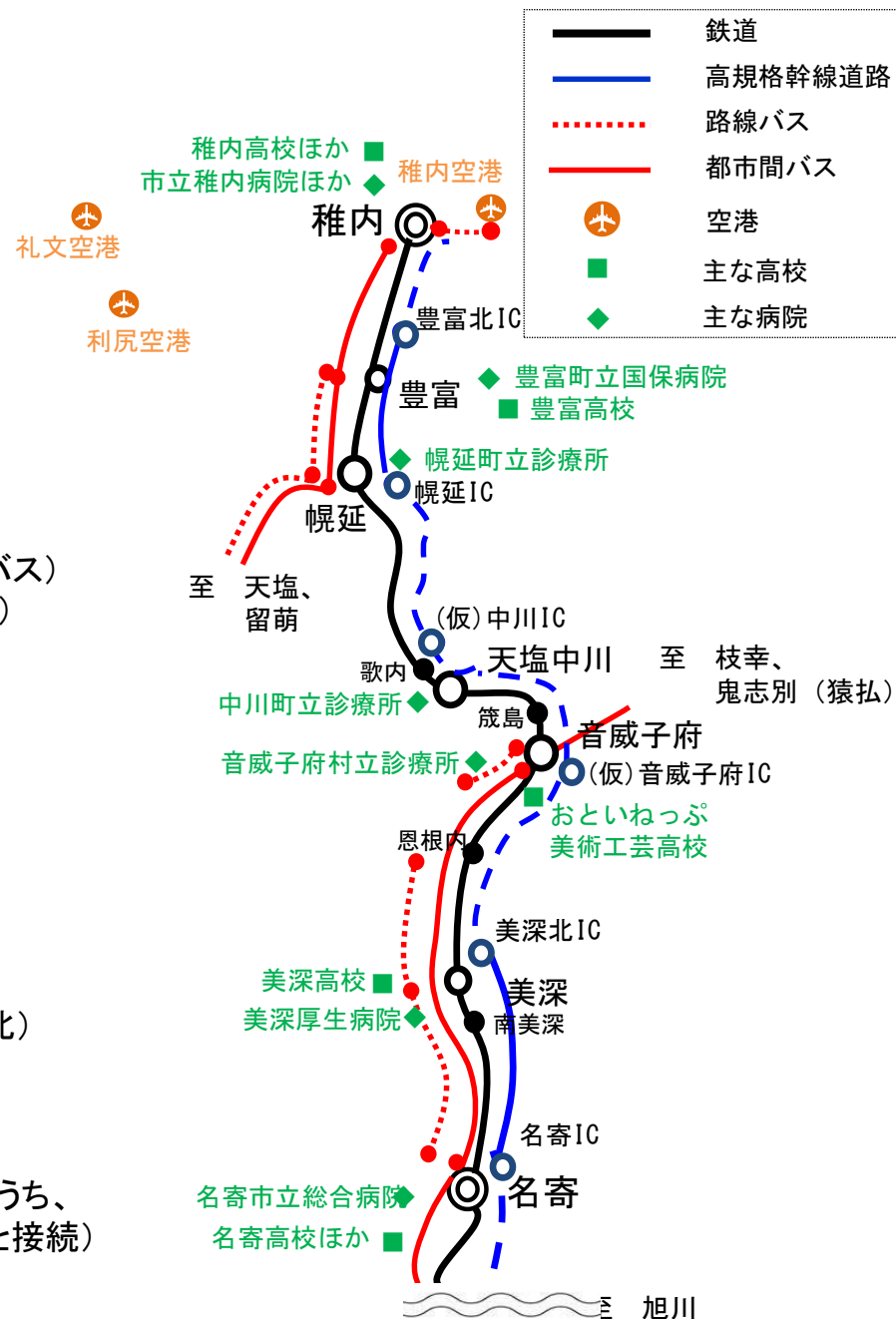
(2) 高規格幹線道路

北海道縦貫自動車道(開通区間:名寄～美深北、幌延～豊富北)

※音威子府～中川はH30年度開通予定

4 特記事項

- ・平成29年3月のダイヤ改正から札幌～稚内間の特急3往復のうち、2往復を旭川～稚内間の運行(旭川駅で札幌～旭川間の特急と接続)とした。



石北線(新旭川～網走間)の概要

1 運行区間

- ・営業キロ 234.0km
- ・駅数 36駅 (有人駅4駅、無人駅32駅)
- ・本数 特急上下8本
普通上下52本

2 経営状況

- ・輸送密度 1,141人/キロ/日(H27)
- ・営業損益 Δ3,568百万円(H27)
- ・営業係数 324円(H27)

3 他の交通モード

(1) バス

○都市間バス

- ・旭川～北見 4往復/日(道北、北見バス)
- ・旭川～遠軽 2往復/日(道北、北見バス)
- ・札幌～北見～網走 9往復/日(中央、北見、網走バス)
- ・札幌～旭川～遠軽 2.5往復/日(中央、道北、北見バス)

○路線バス

- ・旭川～上川 7往復/日(道北バス)
- ・丸瀬布～遠軽 4往復/日(遠軽町営)
- ・遠軽～生田原 3.5往復/日(北見バス)
- ・留辺蘂～北見 15.5往復/日(北見バス)
- ・北見～美幌 11往復/日(北見バス)
- ・美幌～網走 6往復/日(網走バス)
- ・網走～女満別空港 13往復/日(網走バス)
- ・美幌～女満別空港 3往復/日(網走バス)
- ・北見～女満別空港 12往復/日(北見バス)

(2) 高規格幹線道路

○旭川・紋別自動車道

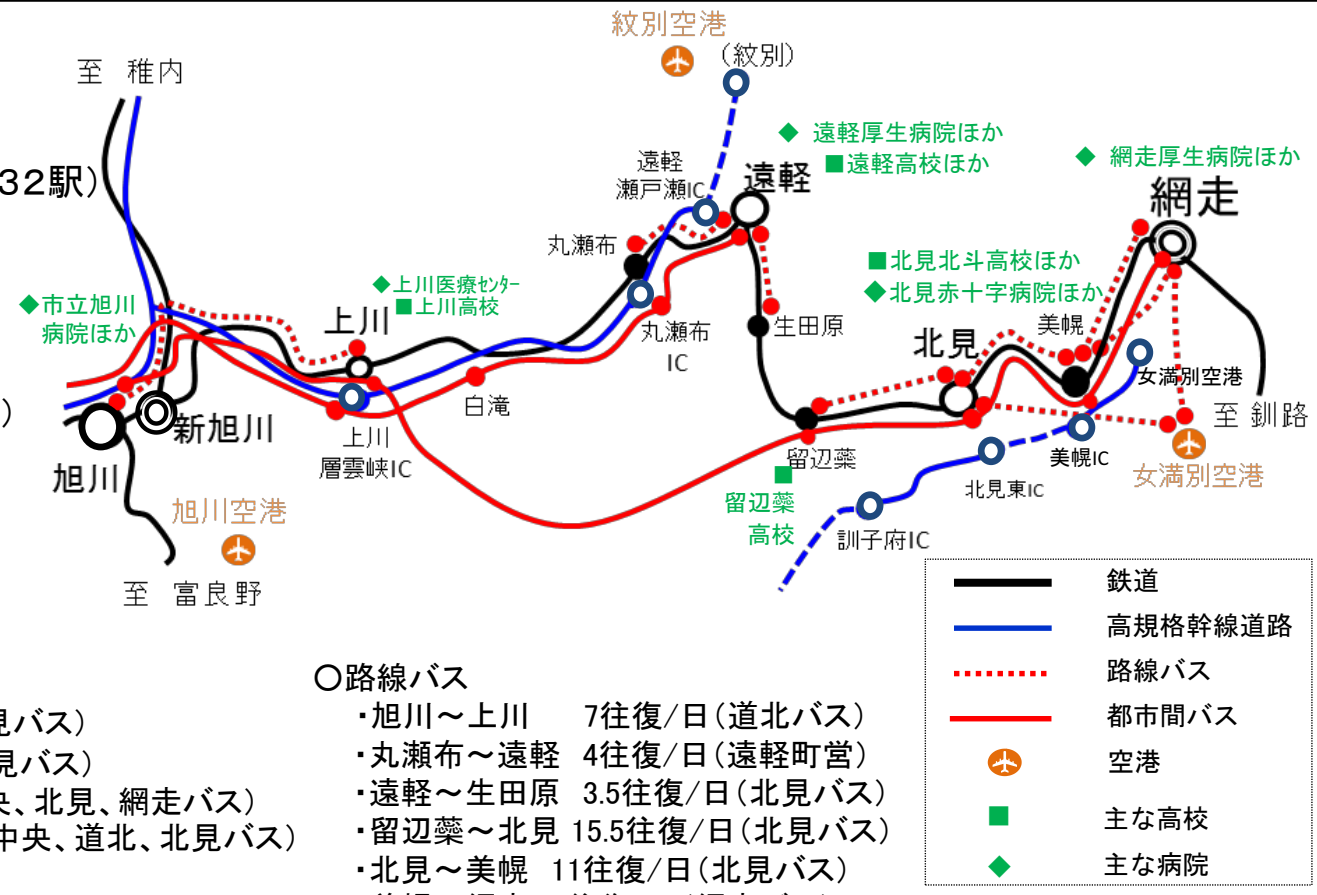
- ・開通区間: 比布JCT～遠軽瀬戸瀬

○北海道横断自動車道

- ・開通区間: 訓子府～北見東、美幌～女満別空港

4 特記事項

- ・毎年秋から翌年春にかけて、農産物輸送用として、臨時貨物列車(通称玉ねぎ列車)が北見～新旭川間(上下6本)を運行。
- ・平成29年3月のダイヤ改正から札幌～網走間の特急4往復のうち2往復を旭川～網走間の運行(旭川駅で札幌～旭川間の特急と接続)とした。



富良野線(富良野～旭川間)について

1 運行区間の概要

- ・営業キロ 54.8km
- ・駅数 17駅(有人駅4駅、無人駅13駅)
- ・本数 上下38本

2 経営状況

- ・輸送密度 1,477人/キロ/日(H27)
- ・営業損益 △956百万円(H27)
- ・営業係数 363円(H27)

3 他の交通モード

(1) バス

○都市間バス

なし

○路線バス

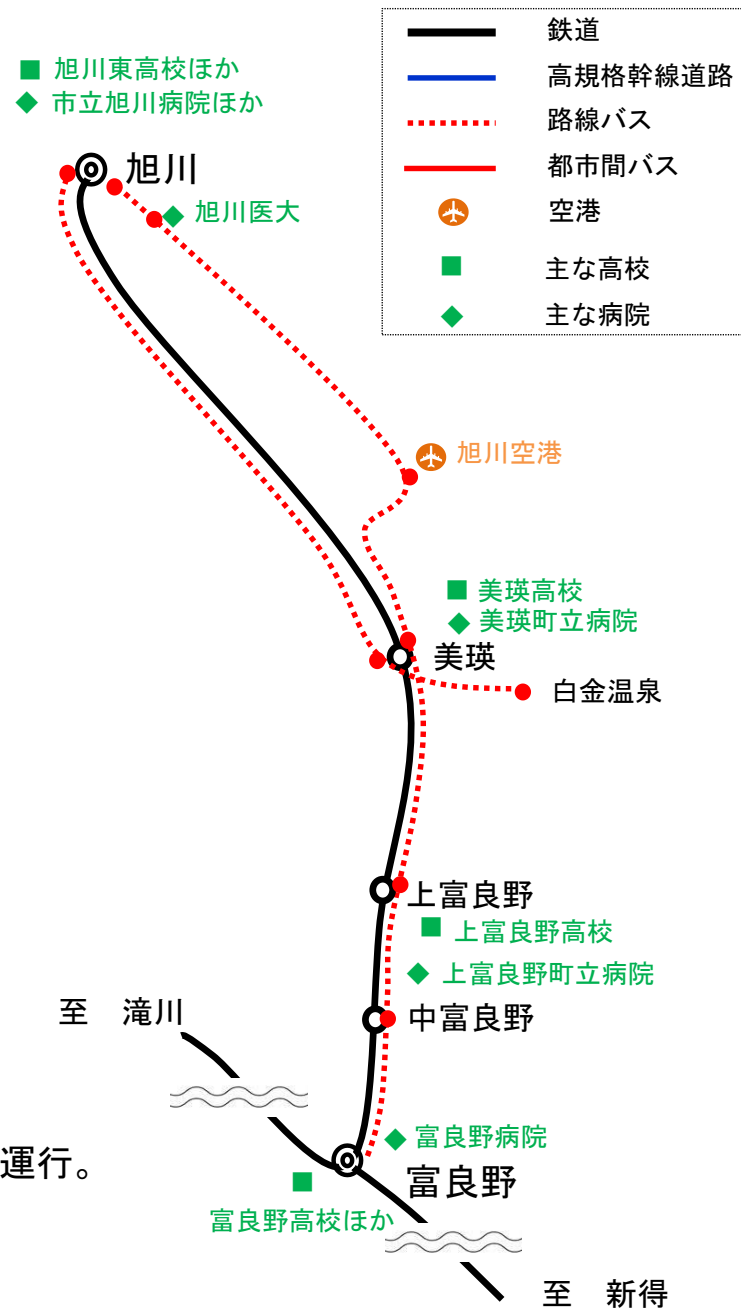
- ・旭川～中富良野～上富良野～美瑛～富良野 8往復/日(ふらのバス)
- ・旭川～美瑛(白金温泉) 7往復/日(道北バス)
- ・旭川～旭川空港 9往復(旭川電気軌道)

(2) 高規格幹線道路

なし

4 特記事項

- ・夏季に富良野・美瑛ノロッコ号(旭川・美瑛～富良野 3往復/日)を運行。
- ・臨時駅「ラベンダー畑駅」開設。



釧網線(東釧路～網走間)の概要

1 運行区間

- ・営業キロ 166.2km
- ・駅数 26駅(有人駅4駅、無人駅22駅)
- ・本数 上下18本

2 経営状況

- ・輸送密度 513人/キロ/日(H27)
- ・営業損益 △1,617百万円(H27)
- ・営業係数 561円(H27)

3 他の交通モード

(1) バス

○都市間バス なし

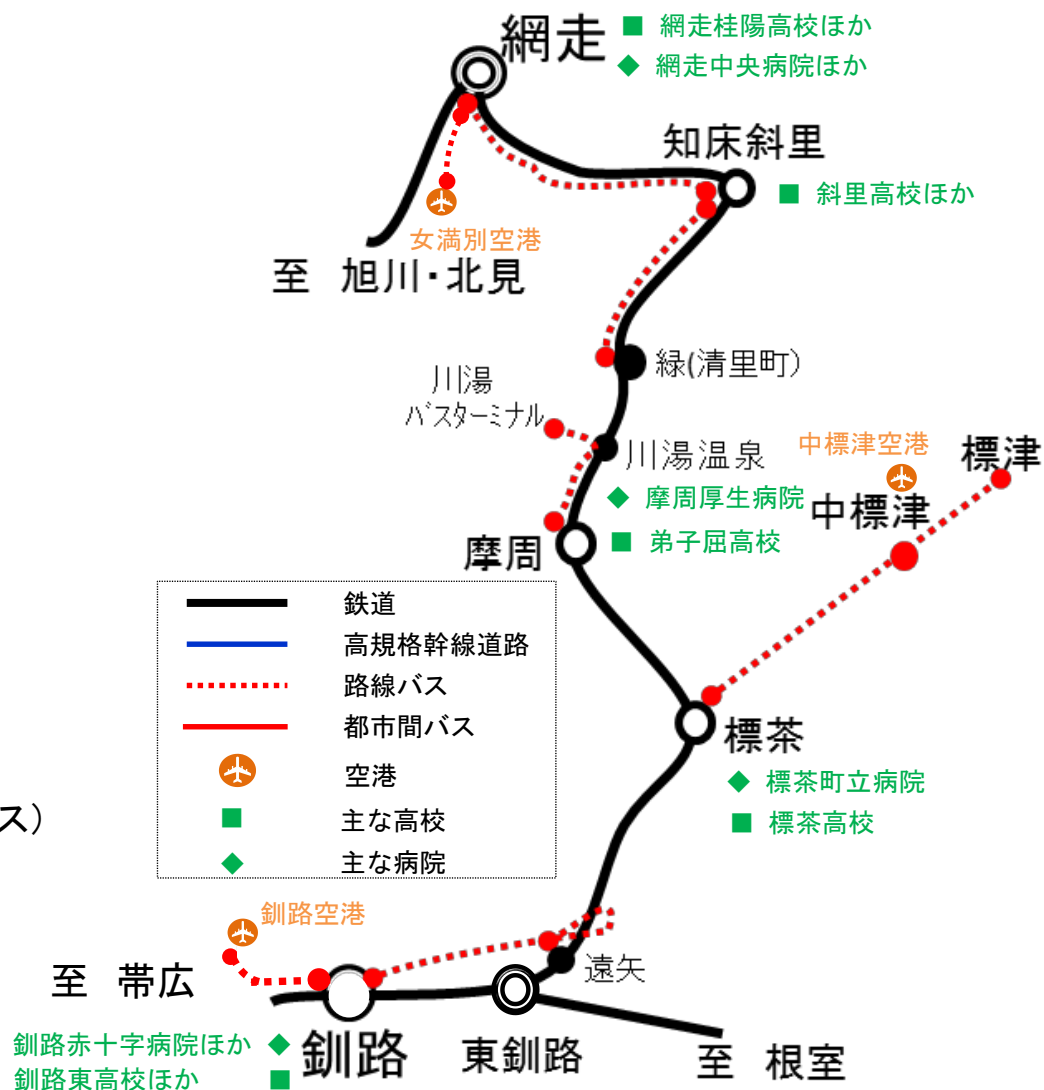
○路線バス

- ・網走～知床斜里 4往復/日(網走バス)
- ・網走～女満別空港 13.5往復/日(網走バス)
- ・知床斜里～緑 2往復/日(斜里バス)
- ・摩周～川湯バスターミナル 平日5往復/日(阿寒バス)
- ・標茶～中標津～標津 5往復/日(阿寒バス)
- ・釧路～遠矢 8.5往復/日(釧路バス)
- ・釧路～釧路空港 15往復/日(阿寒バス)

(2) 高規格幹線道路 なし

4 特記事項

- ・H28.2月末で運行を終了した「流氷ノロッコ号」(網走～知床斜里間)について、沿線市町の意向を受け、JR北海道が既存車両(2両編成)にラッピングを施し、H29.1月末～2月に「流氷物語号」として運行を開始(1日2往復)
- ・6月に観光列車「くしろ湿原ノロッコ号」を運行(釧路～塘路間、1日2往復)



根室線(滝川～富良野間)について

1 運行区間の概要

- ・営業キロ 54.6km
- ・駅数 10駅(有人駅2駅、無人駅8駅)
- ・本数 上下19本

2 経営状況

- ・輸送密度 488人/キロ/日(H27)
- ・営業損益 △1,183百万円(H27)
- ・営業係数 1,010円(H27)

3 他の交通モード

(1) バス

○都市間バス

- ・札幌～赤平～芦別～富良野 10往復/日(中央バス)

○路線バス

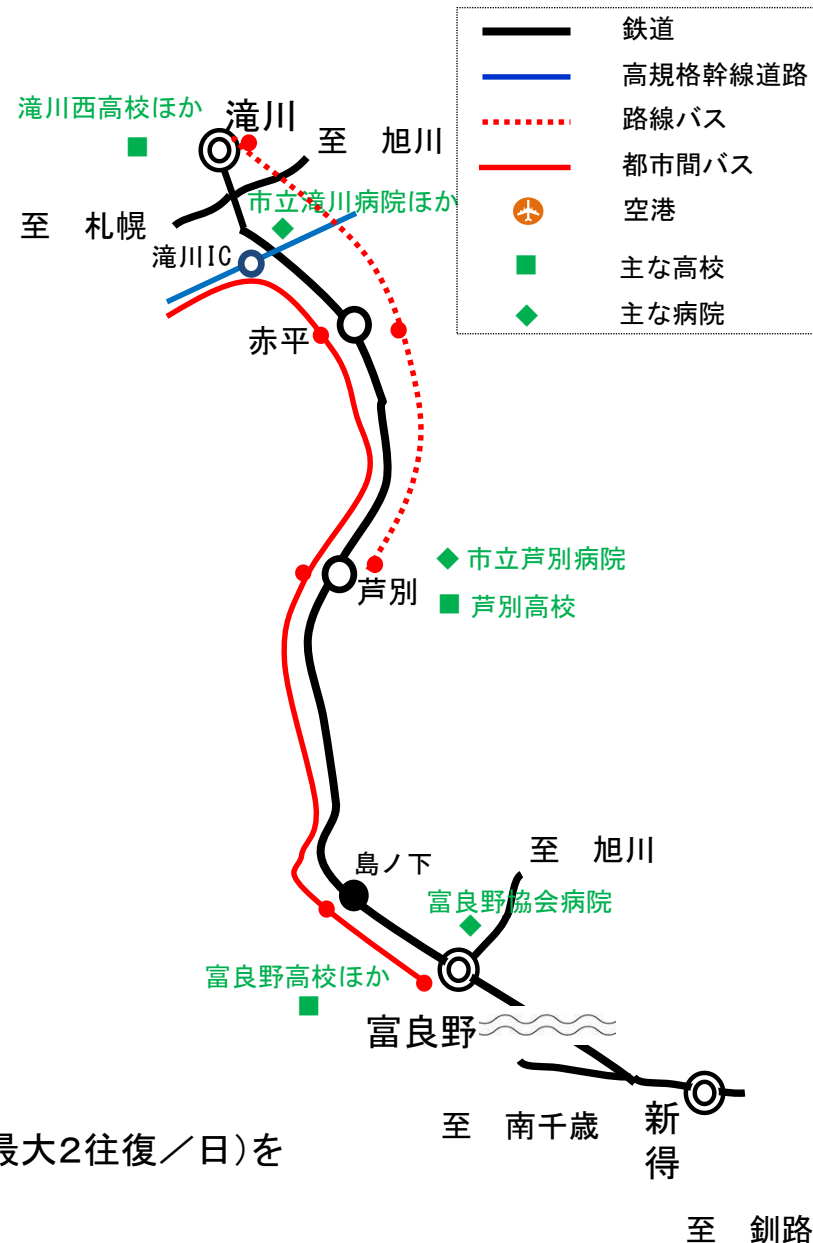
- ・滝川～赤平～芦別 21往復/日(中央バス)
- ・滝川～赤平 16往復/日(中央バス)

(2) 高規格幹線道路

なし

4 特記事項

- ・夏季に臨時特急フラノラベンダーエクスプレス(札幌～富良野 最大2往復/日)を運行。
- ・貨物列車が運行(滝川～富良野間 臨時上下4本)



室蘭線(沼ノ端～岩見沢間)について

1 運行区間の概要

- ・営業キロ 67.0km
- ・駅数 13駅(有人駅2駅、無人駅11駅)
- ・本数 上下17本

2 経営状況

- ・輸送密度 500人/キロ/日(H27)
- ・営業損益 Δ1,117百万円(H27)
- ・営業係数 965円(H27)

3 他の交通モード

(1) バス

○都市間バス

- ・札幌～栗沢～栗山 6往復(中央バス)
- ・札幌～沼ノ端～苫小牧 札幌行き27便、苫小牧行き29便(中央バス、道南バス)

○路線バス

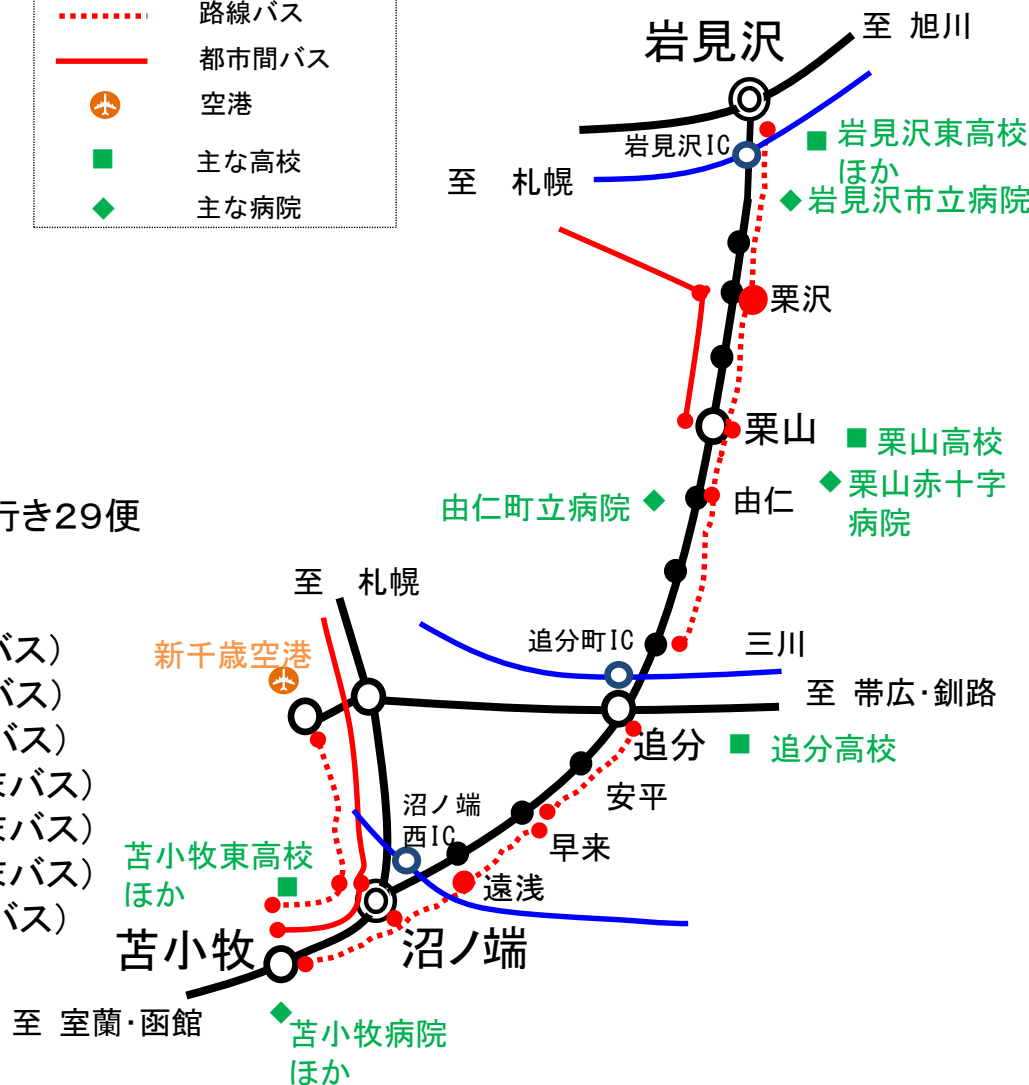
- ・岩見沢～栗山 7.5往復/日(中央バス)
- ・岩見沢～栗山～由仁町 5.5往復/日(中央バス)
- ・岩見沢～栗山～由仁町～三川 5往復/日(中央バス)
- ・追分～早来 3往復/日(あつまバス)
- ・早来～遠浅 2往復/日(あつまバス)
- ・早来～遠浅～沼ノ端～苫小牧 9往復/日(あつまバス)
- ・苫小牧～新千歳空港 14往復/日(道南バス)

(2) 高規格幹線道路

なし

4 特記事項

- ・貨物列車が運行(沼ノ端～追分間 定期上下6本、追分～岩見沢間 定期上り2本)



札沼線(北海道医療大学～新十津川間)について

1 運行区間の概要

- ・営業キロ 47.6km
- ・駅数 17駅(有人駅1駅、無人駅16駅)
- ・本数 上下15本

2 経営状況

- ・輸送密度 79人/キロ/日(H27)
- ・営業損益 △351百万円(H27)
- ・営業係数 2,213円(H27)

3 他の交通モード

(1) バス

○路線バス

- ・滝川～新十津川 19.5往復/日(中央バス)
- ・滝川～新十津川～浦臼 5往復/日(中央バス)
- ・浦臼～奈井江 5.5往復/日(浦臼町営バス)
- ・浦臼～晩生内 1往復/日(浦臼町営バス)
- ・月形～岩見沢 8.5往復/日(中央バス)

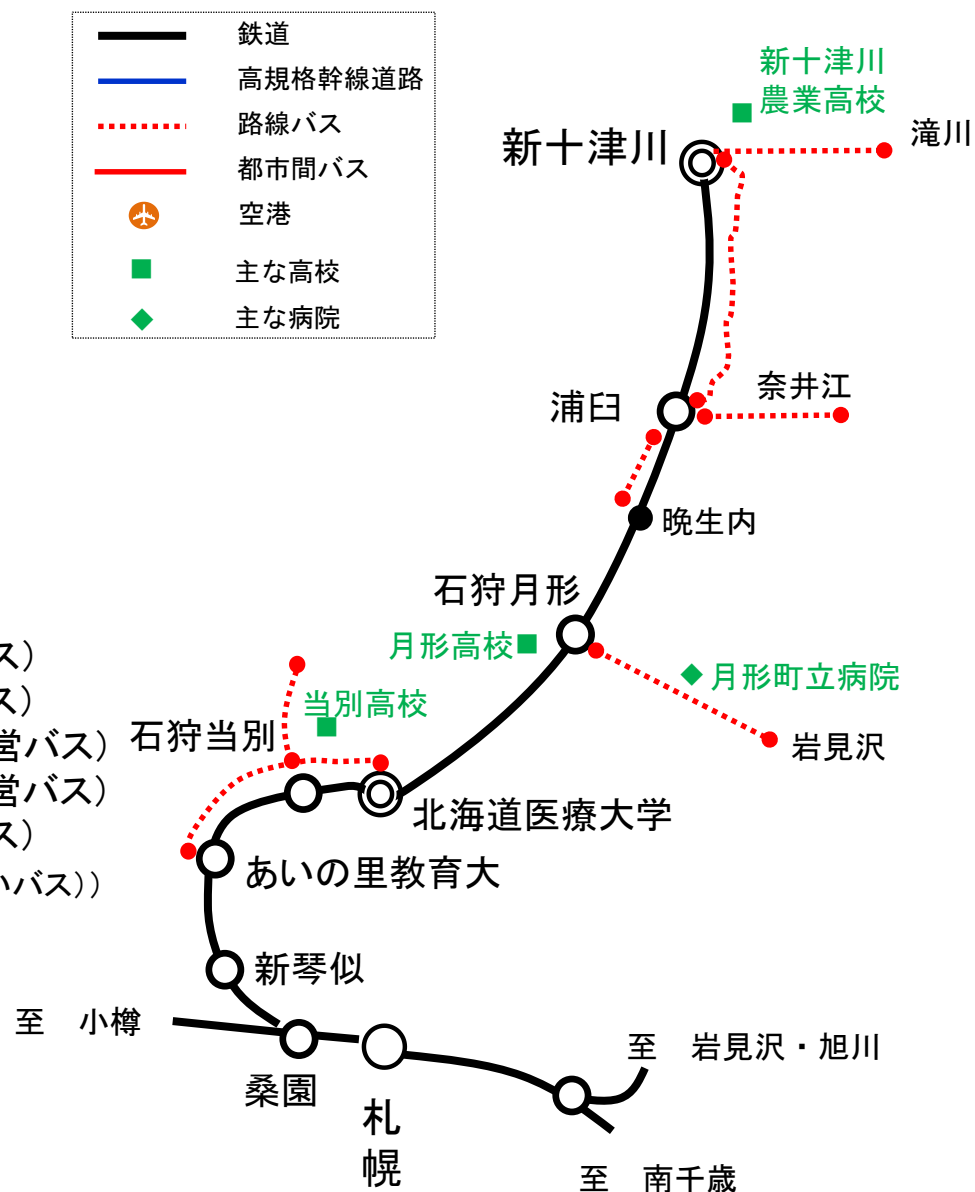
※参考(医療大～あいの里 8～22往復/日(当別ふれあいバス))

(2) 高規格幹線道路

なし

4 特記事項

- ・なし



留萌線(深川～留萌間)について

1 運行区間の概要

- ・営業キロ 50.1km
- ・駅数 12駅(有人駅2駅、無人駅10駅)
- ・本数 上下17本

2 経営状況

- ・輸送密度 183人/キロ/日(H27)
- ・営業損益 △683百万円(H27)
- ・営業係数 1,342円(H27)

3 他の交通モード

(1) バス

○都市間バス

- ・留萌～札幌(深川経由) 4往復/日(中央バス)
※留萌～札幌間は、滝川経由もあり

○路線バス

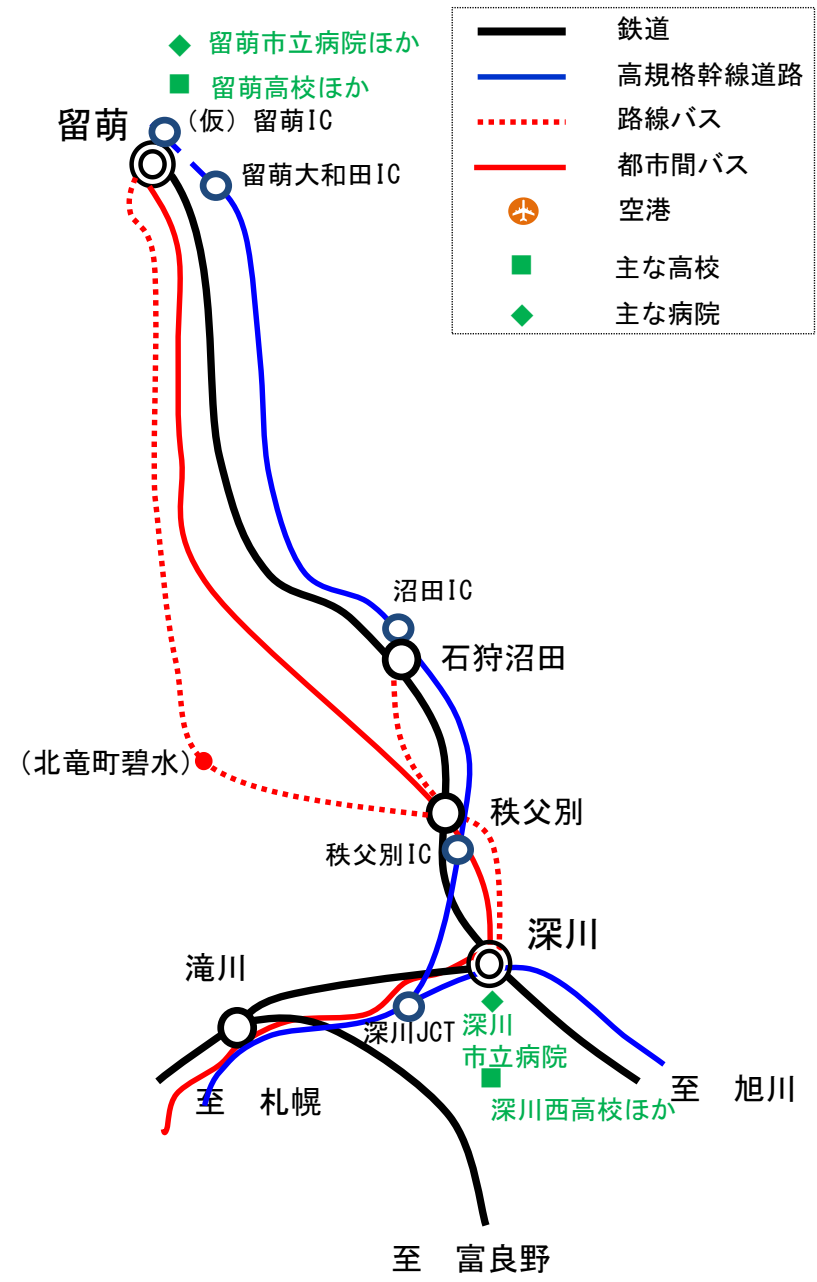
- ・留萌～秩父別～深川～旭川 10往復/日
(沿岸バス・道北バス共同運行)
- ・沼田～秩父別～深川 9往復/日(空知中央バス)

(2) 高規格幹線道路

- 深川・留萌自動車道(開通区間:深川JCT～留萌大和田)
※平成31年度に全線開通予定

4 特記事項

- ・なし



日高線(苫小牧～鷓川)の概要

1 運行区間の概要

- ・営業キロ 30.5km
- ・駅数 5駅(有人駅1駅、無人駅4駅)
- ・本数 上下17本

2 経営状況

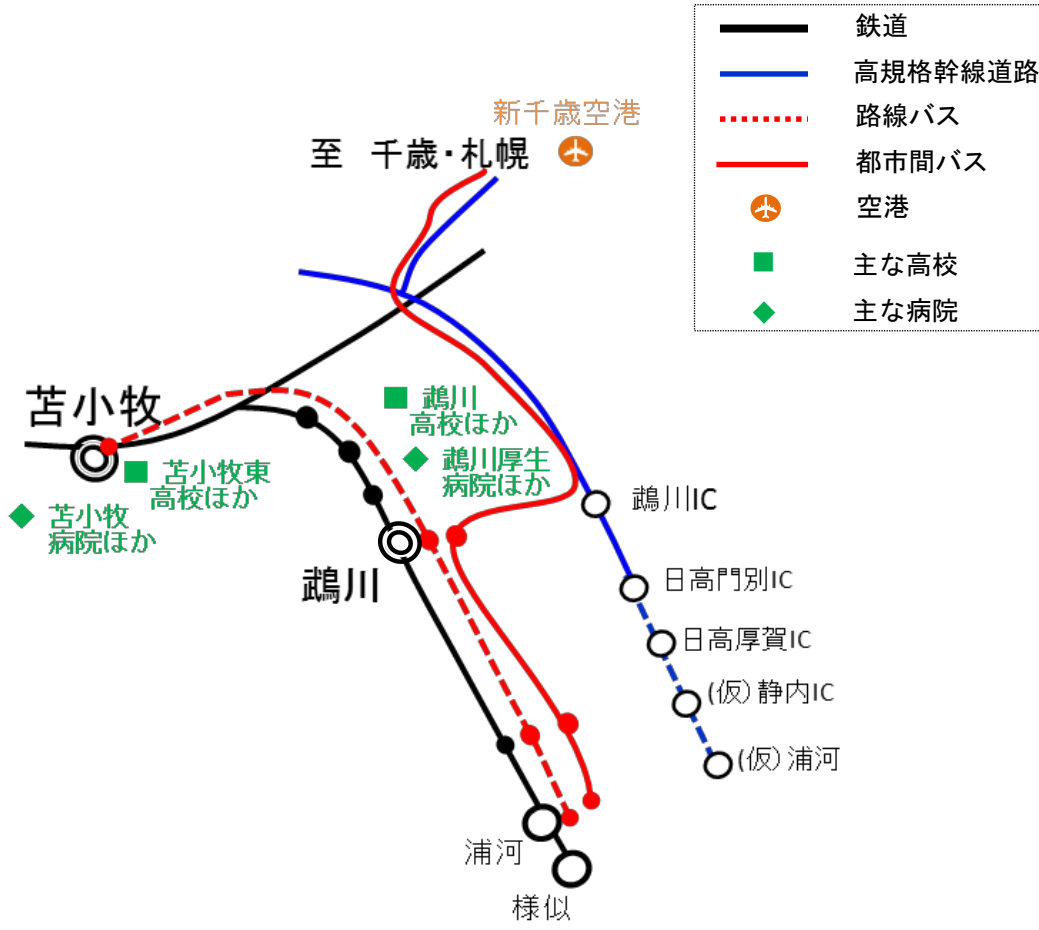
- ・輸送密度 589人/キロ/日(H26)
- ・営業損益 Δ443百万円(H26)
- ・営業係数 803円(H26)

3 他の交通モード

- (1)バス
 - 都市間バス
 - ・鷓川～札幌 7.5往復/日(道南バス)
 - 路線バス
 - ・苫小牧～鷓川 3往復/日(道南バス)
- (2)高規格幹線道路
 - 日高自動車道(開通区間:苫小牧東～日高門別)

4 特記事項

なし



石勝線夕張支線(新夕張～夕張間)について

1 運行区間の概要

- ・営業キロ 16.1km
- ・駅数 6駅(有人駅1駅、無人駅5駅)
- ・本数 上下10本

2 経営状況

- ・輸送密度 118人/キロ/日(H27)
- ・営業損益 △150百万円(H27)
- ・営業係数 1,188円(H27)

3 他の交通モード

(1) バス

○都市間バス

- ・札幌－鹿ノ谷－夕張

3往復/日(中央バス)

○路線バス

- ・夕張－鹿ノ谷
- ・夕張－南清水沢
- ・南清水沢－新夕張
- ・南清水沢・清水沢－新さっぽろ

- 1 往復/日(中央バス)
- 8 往復/日(夕鉄バス)
- 2.5 往復/日(夕鉄バス)
- 7.5 往復/日(夕鉄バス)

(2) 高規格幹線道路

なし

4 特記事項

○JRとの協議について

- ・H28.8.8 夕張市長がJR北海道 島田社長と面談し、一定の条件のもと、廃止を容認。
- ・H28.8.17 JRが夕張支線の廃止を提案。夕張市の提示した条件については協力方針。
- ・H28.10.1 JRが夕張市に職員派遣

